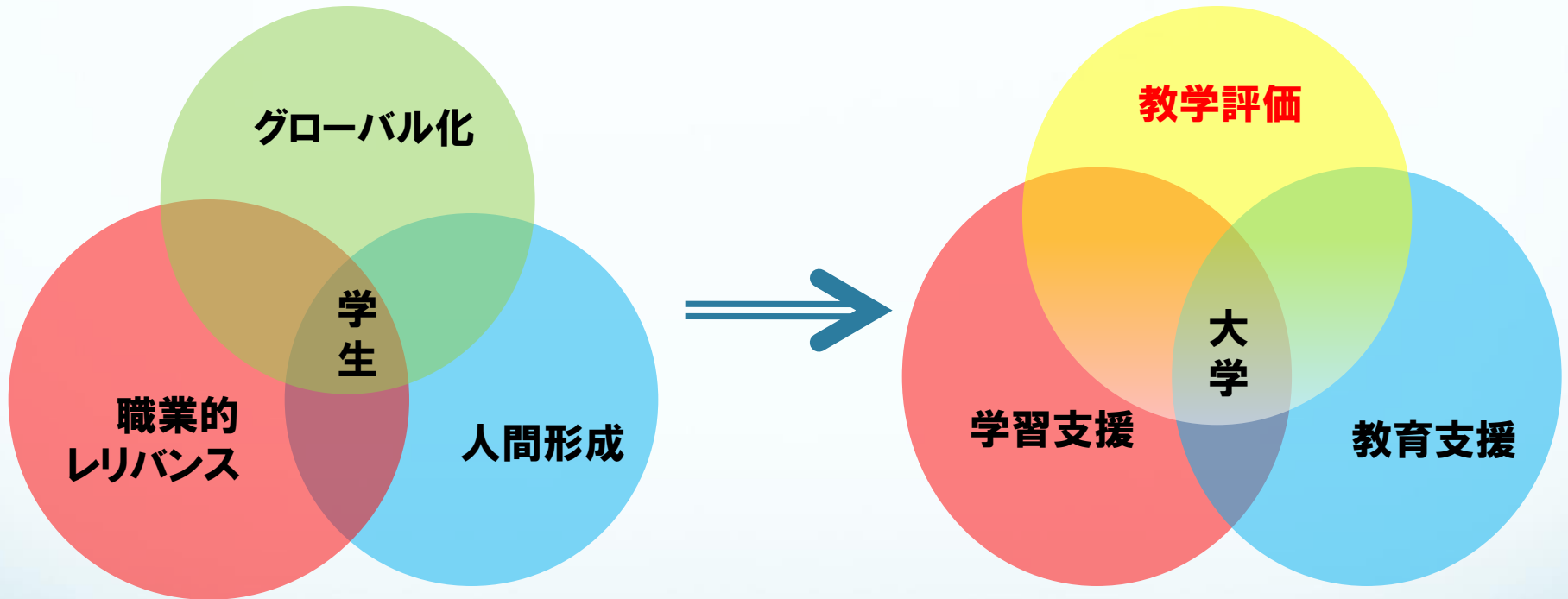


教学評価体制(IRネットワーク)による 学士課程教育の質保証

平成24年度採択 文部科学省
大学間連携共同教育推進事業

北海道大学高等教育推進機構
細川敏幸

事業の背景



今求められているニーズに合わせた
大学教育

評価に基づいた学生・教員への
支援体制の構築

IRとは？

- ① 自学のデータ収集・蓄積
- ② 教育機能についての調査分析
- ③ 大学経営の基礎となる情報・分析結果の提供



教育の効果測定

- ・直接測定（成績，授業評価など）
- ・**間接測定**（学習行動，生活行動，自己認識，大学教育の満足度など成果に至るまでの過程を評価する）



日本では整備されていない 間接測定

IR担当の位置づけ



教員、事務

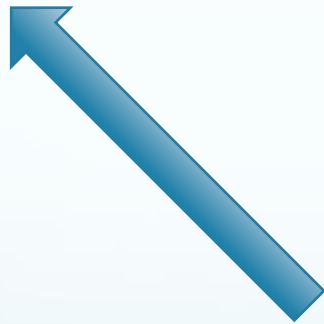


部局事務
IR担当



IR担当

IR機能



執行部、教員、事務

事業の意義・内容

- 教学評価体制の提言
- IR組織の日本導入の契機
- 教学関連学生アンケート調査（一年生、上級生）
事業の根幹、大学IRコンソーシアムと連携
- 卒業生調査
- 英語力調査

IRネットワークに登録するデータ

大学基本情報

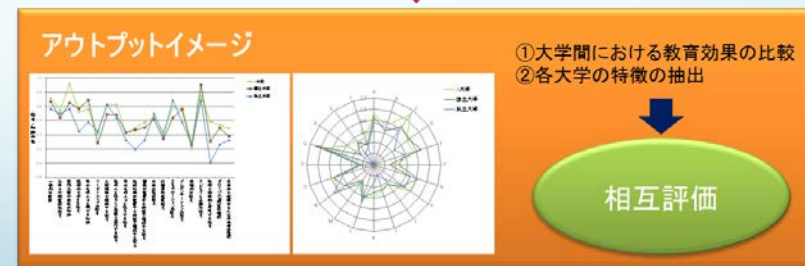
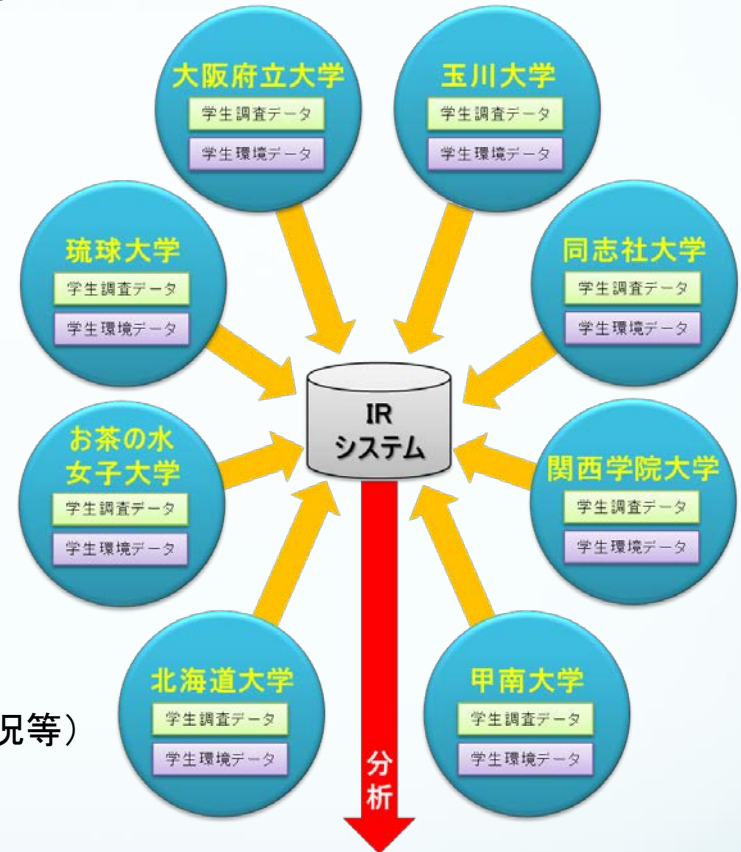
教員数
入学者数
卒業生数
図書数
など

学生環境データ

入学関連データ(出身高校、入試方法等)
教務情報(履修状況、GPA、単位取得状況、留年・学位取得状況等)
就職情報(就職状況等)
など

学生調査データ

学生の自己評価を中心とした共通アンケート



学生調査データ部分のみでの比較

大学間比較

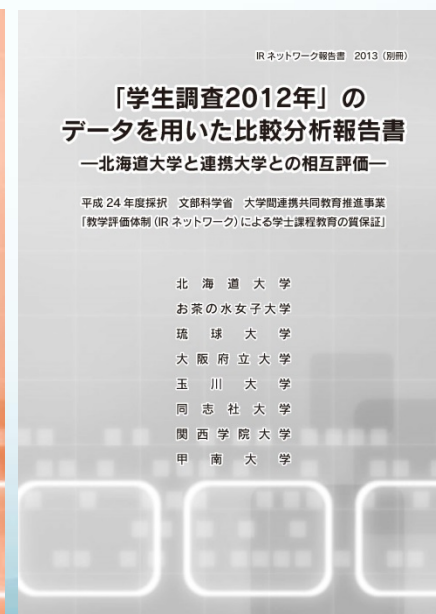
4大学(同志社大学・北海道大学・大阪府立大学・甲南大学)

8大学(4大学+お茶の水女子大学+琉球大学+玉川大学+関西学院大学)

- ◆ 一年生調査(2009年～)
- ◆ 上級生調査(2011年～)
 - ・2～4年生
 - ・北大は3年生が対象
- ◆ 卒業生調査(2012年～)
- ◆ 英語力評価(2012年～)



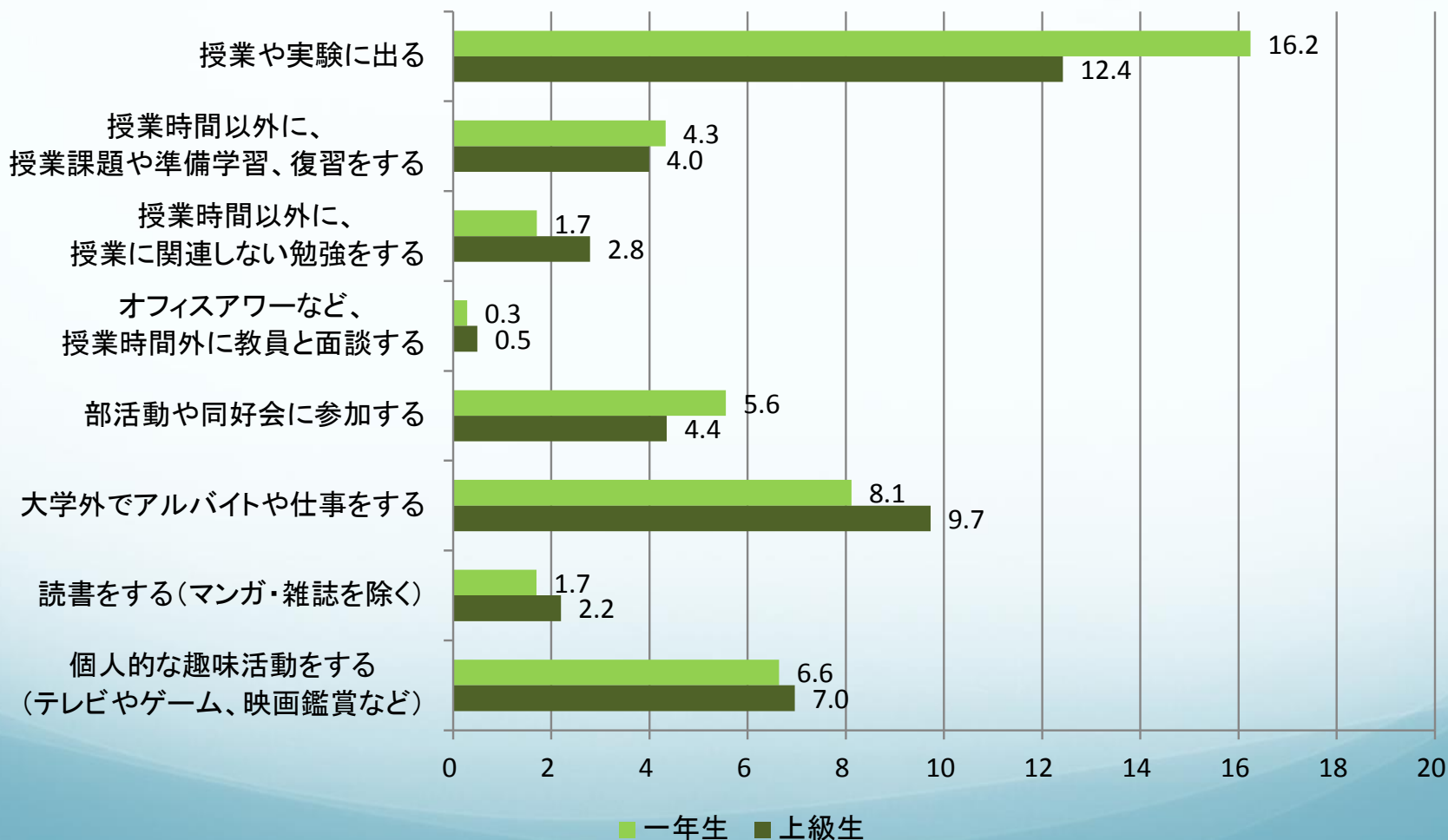
3冊の報告書を公表



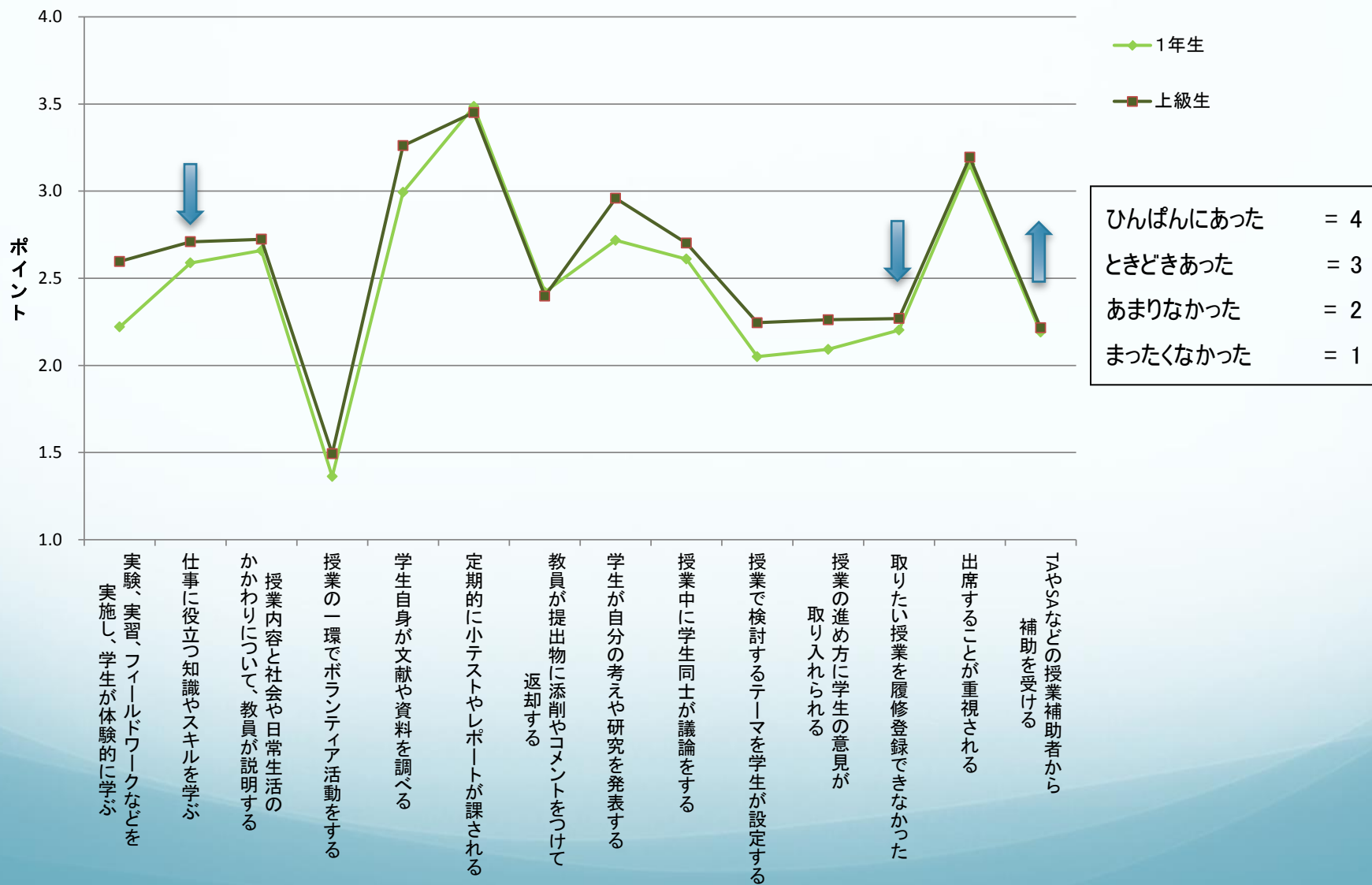
最新(2013年)のデータからみえる大学生像

週あたりの平均活動時間(8大学平均)

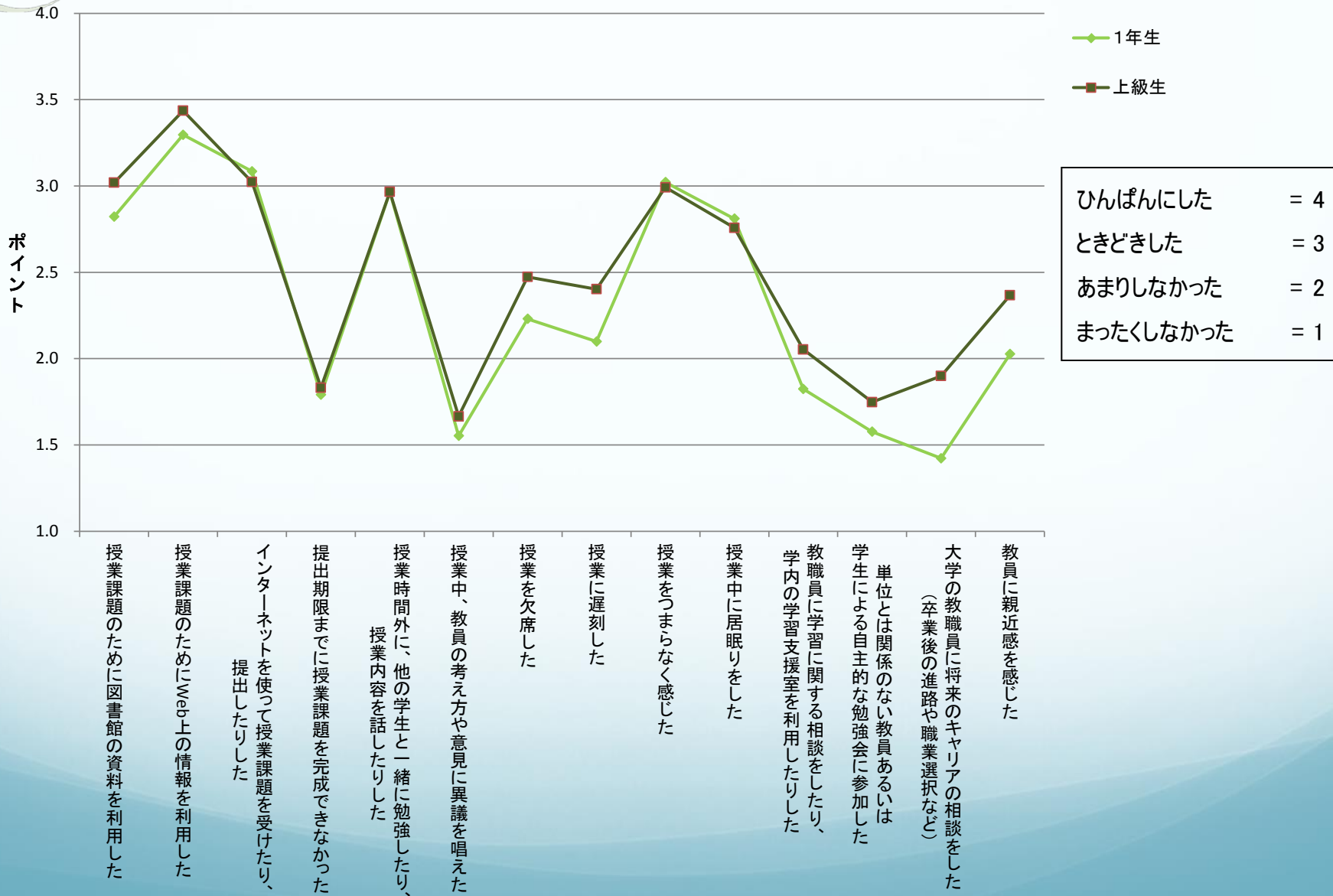
単位:時間



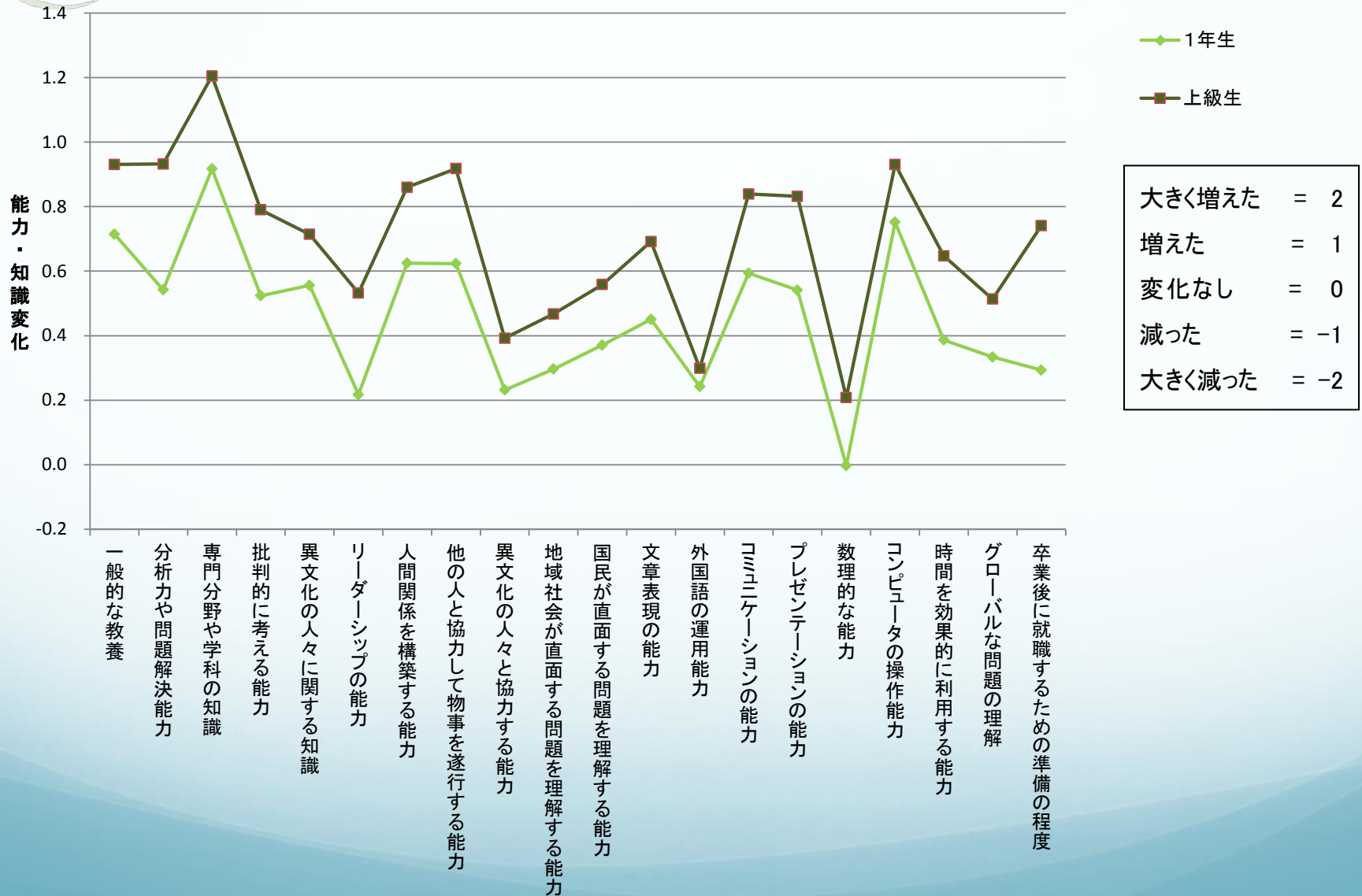
授業経験



学習態度



能力・知識の変化(学生の自己評価)



まとめ

IRネットワーク(学生調査部分)により見えたこと

- 相互比較を通じて、自校の特色・強み・弱み・客観的位置づけがみえる

⇒ベンチマークの設定

⇒同じ規模の大学との比較で本当の特色

- 経年比較で変化に気づき、取組の検証ができる

⇒長期的推移に注目

⇒印象・思いつき → データに基づく改革へ

・今後の取組

8大学連携, 英語力調査, 卒業生調査, 教育制度改革に活用